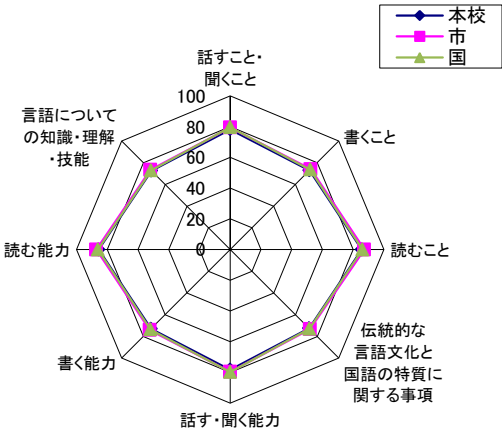


宇都宮市立陽南中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

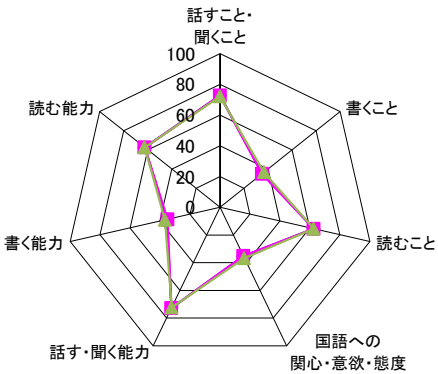
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	78.3	79.5	79.7
	書くこと	73.0	74.1	73.6
	読むこと	85.7	87.2	86.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.6	73.4	72.9
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	78.3	79.5	79.7
	書く能力	73.0	74.1	73.6
	読む能力	85.7	87.2	86.1
	言語についての知識・理解・技能	72.6	73.4	72.9



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	72.8	72.8	72.2
	書くこと	35.3	35.0	36.7
	読むこと	62.6	62.6	62.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	35.3	35.0	36.7
	話す・聞く能力	72.8	72.8	72.2
	書く能力	35.3	35.0	36.7
	読む能力	62.6	62.6	62.6
	言語についての知識・理解・技能			



★国語に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

- 国語の授業の内容は分かると回答した生徒の割合が県平均に比べ11.7ポイント高い。
- 国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと考えている生徒の割合は県平均に比べ10.3ポイント高い。
- 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる生徒の割合は県平均に比べ11.2ポイント高い。
- 読書は好きだと回答した生徒の割合は、県平均とほぼ同じである。
- 今回の問題について解答を文章で書く問題について最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合は、県平均とほぼ同じである。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○相手の反応を踏まえて話す問題では、県より1.7ポイント、全国より1.9ポイント高い。 ○聞き手を意識し、わかりやすい語句を選択して話す問題では、県より2.3ポイント、全国より0.2ポイント高い。 ●必要に応じて質問しながら聞き取る問題では、県より3ポイント、全国より3.3ポイント低い。	・時と場に応じた話す・聞くポイントについて資料を精選して学習を行っていく。
書くこと	○資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く問題では、県より3.2ポイント、全国より2.8ポイント高い。 ●必要に応じて質問しながら聞き取る問題では、県より3ポイント、全国より3.3ポイント低い。	・各学年に配置されている「書くこと」の学習教材を使うだけでなく、巻末の「学びを支える言葉の力」を活用することで、書く力を身に付けさせるようにする。
読むこと	○目的に応じて文章を要約する問題では、県より3.2ポイント、全国より3.1ポイント高い。 ○文章の中心的部分と付加的部分などを読み分け、要旨を捉える問題は、県より3.8ポイント、全国より3.3ポイント高い。 ●登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する問題では県より1.1ポイント、全国より0.8ポイント低い。	・小説などの教材を通して、場面や登場人物の心理状態を捉えるなどして、登場人物の心情や行動の背景を考えさせる。 ・説明文の読解では、日頃の単元の読解で筆者の主張を短文文にまとめさせるなどして、筆者の主張の中心的部分を押さえられるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○表現の技法について理解する問題では、県より2.9ポイント、全国より2.1ポイント高い。 ●単語の類別について理解する問題では、県より3.3ポイント、全国より5.9ポイント低い。	・文法の学習材については、プリントを適宜利用するなどして品詞の分類などについて押さえさせる。また、漢字については単元テストを実施し、漢字の定着を図る。